

一葉(イチヨウ) について
学名 *Prunus lannesiana* 'Hisakura'

花は大輪、八重咲きで淡紅色。開花期は4月中旬。
花の中心から葉化した雌しべが1本であることからこの名がつけられた、強健で美しい八重桜です。

分類上はバラ科サクラ属の落葉高木である。

一葉(イチヨウ)はその中の1つである。

江戸時代に後期から関東を中心に広く栽培されている。

樹高は5～10メートルくらいである。

樹皮がところどころで縦に裂けるのが特徴である。

葉は楕円形で、互い違いに生える(互生)。

特徴は花径が5センチくらいある八重咲きの大輪であることである。

開花時期は4月中旬～5月初旬である。(小布施では4月下旬から)

染井吉野(ソメイヨシノ)が終わった後に、葉の展開と同時に花をつける。

花の色は淡い紅色で、花弁数は30～40枚くらいある。

花弁の内側は白いので、満開時には白く見える。

花びらの形は円形ないし楕円形である。

蕾の色は淡い桃色である。

1～2本の雌しべが葉化するのが特徴である。

それが名の由来にもなっている。

一総につく花の数は3～4輪である。